活動フォト

第２回ミニバレー交流大会

　後援会主催「第２回ミニバレー交流大会」を７月22日、北方勤労者体育館で開催。
　無謀にも私もチームを作って参加しましたが、もちろん全敗。

チーム「グッチーズ」のメンバー

選手宣誓

45チーム、約200名の参加者

表彰式

活動報告

ミニ集会　南一ケ岡（7月8日）

ミニ集会　千代ケ丘（7月16日）

街頭宣伝カーで県政報告（7月31日）

まつり延岡（7月28日）

桜ケ丘区合同納涼盆踊り（8月12日）

県政相談

ご意見・ご要望をお気軽にお聞かせ下さい。

田口雄二
TEL FAX：0982-26-1945　携帯：090-5021-7729
住所：〒882-0004　延岡市櫟山町3-841-2
e-mail:gucci-yu@ma.wainet.ne.jp

【田口雄二ホームページ】http://www.yuji-taguchi.com　田口雄二　検索

宮崎県議会議員
田口ゆうじ
議会だより
きずな
第18号　平成24年10月　編集／発行 田口ゆうじ

ごあいさつ

　あの猛暑が嘘のように過ごしやすい季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。
　９月定例県議会が９月12日から始まりました。今議会は23年度の決算審査も行いますので、10月12日までの長丁場となります。しかし、９月27日には木材価格対策、地域経済活性化・雇用対策、子育て支援対策等の57億3285万円の補正予算案を可決しました。この結果、一般会計総額は、5785億6285万円となります。
　私は６月議会の「一般質問」で、医療福祉、教育、道路等を主に知事や関係部長等に質問しました。その内容の一部は２ページ以降をご覧ください。

9月定例県議会一般質問（9月19日）

トピックス　県立延岡病院に消化器内科医2名の派遣決定

　平成20年9月から休診となっていた消化器内科が、来年4月には再開の運びとなりました。宮崎大学が2名の専門医を派遣していただきます。現在は延岡市内の4つの病院が輪番制で受け入れていただきましたが、これで負担も軽減され、安心安全の医療提供ができるようになります。
※消化器内科……食道・胃・12指腸・大腸などの消化管や、肝臓・胆のう・すい臓を主とした消化器疾患を専門的に診断と治療をします。一般内科で受診する人の半数以上が消化器の病気で、日本人のがんの約60%は消化器のがんです。

本年は「古事記編さん1300年」

　古事記は天皇家のご先祖に関することをまとめたもので、その３分の１は宮崎県が舞台となります。延岡市も神話や伝説の宝庫です。

宮内庁指定「北川陵墓参考地」

天孫降臨したニニギノミコトの御陵墓（皇族の墳墓）が、延岡市北川町俵野の西郷隆盛宿陣跡史料館の裏にあります。ニニギノミコトは、ホオリノミコト（山幸彦）の父で、神武天皇の曽祖父になります。この延岡に天皇のご先祖のお墓があるなんてすごいですね。

9月定例県議会

9月27日に決まったこと

- 一般会計補正予算案などの11議案を可決
- 「宮崎県最低賃金改正についての意見書」をはじめ議員発議による意見書や附帯決議など10件を可決
- 請願３件を採択

私は9月19日、最後の質問者となりました。

質問事項

1. 知事の政治姿勢
2. 医療福祉行政
3. 教育行政
4. 交通網の整備
5. 商工観光行政

質問者席からの質問

新エネルギー政策

【質問】原発の停止により、現在の発電の主力は火力発電になっており、化石燃料の輸入が数兆円単位で急増し、貿易赤字になっている。また化石燃料の25%以上を政情不安の中東からの輸入である。もう少し日本全体が冷静になって、原発の再稼働を含む多様なエネルギー政策を進めるべきと考えるが、知事の見解は。

【知事】原発をゼロとする場合、電力需給のひっ迫や電気料金の上昇、化石燃料調達リスクの増大や産業空洞化への懸念等が指摘されている。国民生活や産業の維持発展など、国の将来に関わる重要な案件であり、国はその対策をしっかりと示していただきたい。原発依存度を減らすことは、国民が望んでいることかもしれないが、それに伴うさまざまな負担なり影響をしっかり踏まえたうえ、国民的な腰を定めた決断が必要ではないかと強く感じる。

みやざき犬「ひぃ」「むぅ」「かぁ」

教育行政

【質問】旭化成OB会会員がボランティアで、中学生の数学や理科の授業を補助する学校支援地域本部事業「はげまし隊」が、５年目の今年度から４校で実施されている。地元企業と連携した授業支援は、全国でも例のない延岡独自の取り組みとして、大きく注目されている。成績アップにもつながり、各学校から支援を求める声も大きくなっているが、教育長の評価は。

【教育長】学校からは「理科実験の時、企業レベルの安全指導は助かる」「企業目線で校内の危険個所を指摘していただきありがたい」、生徒からは「わからないところを気軽に質問できる」「ボランティアの励ましで成績が伸びた」などの感謝の声があり、まさに延岡ならではの大変すばらしい取り組みと評価している。

東海中学校の授業支援

医療福祉行政

【質問】今年度末に完成予定の県立延岡病院の新救命救急センターの医療スタッフ配置は。

【病院局長】平日の昼間は、救命救急科の専任医師１名と救急研修中の研修医と救急病棟の日勤看護師で対応。平日夜間と休日は、内科系・外科系の医師１名ずつと研修医１名の計３名。看護師は看護師長と外来担当の看護師２名の計３名が交替で対応している。全国的な医師不足で専門医がなかなか確保できない状況であるが、県北地区の第３次救急医療を担う中核病院として、地域住民の期待が大きいことは認識している。新センターの機能が十分発揮できるよう専門医の確保に努めたい。

交通網の整備

【質問】土々呂地区は、国道10号、県道土々呂日向線ともに朝晩の渋滞がひどく、そして危険である。土々呂地区の渋滞対策について県の考えを聞きたい。

【県土整備部長】県道土々呂日向線の船越地区の約240m区間において、今年度より道路拡幅に取り組んでいる。東九州自動車道の全線開通で、渋滞解消に寄与すると考えられるが、今後国と連携して渋滞緩和に取り組んで参りたい。

※現在、船越地区の約240m区間は測量設計中です。

郡司農林水産大臣に家畜埋却地の土壌改良予算を要望

口蹄疫で家畜約29万頭を埋却した農地は、県内で268ヶ所、約100haとなりますが、農地を再利用したい農家がほとんどです。口蹄疫発生から2年半が経過し、最も早い農地は、来年4月20日から発掘禁止期間の3年が解禁となり、農地として使用できます。しかし、大量に石灰を投入し、石の露出や土壌の陥没等、土壌の改良が必要で、その平成25年度の予算要望で、8月24日、民主党県連として郡司農林水産大臣に直接申し入れをしました。大臣からは「農地に戻せなくなることは避けたい。今後円滑な埋却地の確保のためにも、要望に沿って予算確保の指示をする」と回答をいただき、その後、来年度の概算要求にしっかりと盛り込まれました。

郡司大臣、阿久津民主党総括副幹事長（右から2人目）、川村県連代表（右端）、道休代議士（左端）と県議会議員3名（井上・田口・渡辺）

チョウザメ試食・意見交換会（10月3日）

本県は日本一のチョウザメ養殖産地です。次の本県の特産品にしたい県議会議員の有志一同19名で、試食し、養殖業者と意見交換。残念ながらキャビアを食することは出来ませんでしたが、生春巻き、刺身、酢の物、吸い物、にぎりずし、から揚げで実においしくいただきました。見た目と違って拍子抜けする程クセがなく、カルノシン、コラーゲンが豊富に含まれています。しかし、まだまだ加工、流通等々課題山積です。

から揚げ

刺身

すし